

唐倉山クライミング

齋藤 憲一

■山行年月日:2021年11月10日

■メンバー:齋藤憲一、齋藤宇

10月下旬、ヒロシから『来月初旬の平日、どこかに行きませんか?』との連絡が入る。自分の中では沢シーズンは終了したので相談の結果、駒止の唐倉山へクライミングに行くことにした。記録によると、ルートは南稜3Pと西稜3Pで、そのグレードは、いずれもⅢ~Ⅳのようである。

ここ数日の天候は不安定であり、今日の前報もあまり芳しいものではないのだが、偵察でも良いかとの思いで出掛けることとした。芦ノ牧温泉駅で待ち合わせをし、南郷の木伏集落から舗装された林道を進んで、それなりに整備された駐車場まで入る。この駐車場には水場やトイレが設置されていて、駐車以外にも利用価値はありそうだ。

駐車場からは登山道を20分程で、旗岩と呼ばれる岩壁の基部となり、その正面が南稜ルートで左の稜線が西稜ルートのようにである。早速準備をせずには南稜へヒロシがトップで取り付くが、昨夜の雨で出だしの5m程は濡れているので慎重に登る。顕著な稜状になると南面の岩場であるため、陽も当たって乾いており、

快適に登って行って35m程でビレイ点となる。次のピッチは日当たりの良いスラブの稜状であって、支点は全てリングとRCCのボルトが打ってあるため、ルンで登らせてもらい、40mで西稜上のビレイ点で終了となる。ここは実質2PでいずれのピッチもⅢ級の登攀であった。続いて西稜を登るために、取り付きへと40mの懸垂をして戻すが、まずは腹ごしらえをしようと、湯を沸かしてカップラーメンを食べ始めると、ポツポツと雨が落ちてきた。食べながら雨の様子を見るが、少しずつ強まってきたので、残念だが今日はこれまでとして駐車場へ戻る。林道から南郷の国道へと出ると雨はあがっていて、北の方角には鮮やかな虹が掛かっていた。

初めて行った唐倉山であったが、その岩場はアプローチが近く、岩も比較的しっかりしているスラブ状であり、ルートが2本しかないのはもったいない。他に

も南稜の左壁や旗岩の正面(こちらは立って高難度になるか?)などには複数のルートが開けそうである。できれば駐車場付近にベースを設置して、一夜を皆で楽しみながらの開拓もできるのではないだろうか?などと二人で話しながら帰路についた。

